

授業科目

成人看護学実習IV

担当教員名 手島 美子、北島 昌樹、目黒 優子、金子 佳世 他	対象学年	4	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	45

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	◎	○

授業の概要

緩和ケアを必要とする対象をトータルペインの視点から理解し、実践されている緩和ケアについて理解する。トータルペインを緩和するための代表的な薬物療法およびコミュニケーション技術等を中心としたケアを学び、症状緩和が対象の安楽な日常生活ケアにどのように生かされているかについて理解する。終末期にある対象の家族に行われているグリーフケアについて理解する。緩和ケアを必要とする対象・家族に実践されているチームアプローチについて理解する。

授業の目的

緩和ケアを必要とする対象・家族に実践されているケアについて学び、終末期ケアに携わる看護師の役割と自己の看護観について内省することを目的とする。

学習目標

1. 緩和ケア病棟の特徴について説明できる。
2. 緩和ケアを必要とする対象の安楽な日常生活の支援方法について説明できる。
3. 緩和ケアを必要とする対象の心理的・社会的・霊的な状態を理解し、その支援方法について説明できる。
4. 緩和ケアを必要とする家族のグリーフケアについて説明できる。
5. 緩和ケアを必要とする対象・家族に実践されているチームアプローチについて説明できる。

授業計画

授業計画・学習の主題	担当教員
実習オリエンテーション	手島 美子 他
病棟実習2日間、学内実習3日間	手島 美子 他
緩和ケア病棟の特徴について学ぶ	
緩和ケアを必要とする対象の安楽な日常生活の援助について学ぶ。	
緩和ケアを必要とする対象の心理・社会的・霊的な状態とその援助について学ぶ。	
緩和ケアを必要とする対象の心理・社会的・霊的な状態の理解とその援助法について学ぶ。	
緩和ケアを必要とする家族のグリーフケアについて学ぶ。	
緩和ケアを必要とする対象・家族に実践されているチームアプローチについて学ぶ。	

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	適宜、提示する					
その他の資料						

評価方法

成人看護学実習IVの実習評価表に基づいて行う。

履修上の留意点

事前学習および事例検討など学内学習を十分におこなった上で実習に取り組んでください。

オフィスアワー・連絡先

メールアドレス:tejima@nuhw.ac.jp 研究室: K 509 金曜日: 13時~18時